

四 半 期 報 告 書

(第68期第2四半期)

自 2018年12月21日

至 2019年3月20日

マルサンアイ株式会社

目 次

	頁
【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	3
第2 【事業の状況】	4
1 【事業等のリスク】	4
2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	4
3 【経営上の重要な契約等】	6
第3 【提出会社の状況】	7
1 【株式等の状況】	7
2 【役員の状況】	9
第4 【経理の状況】	10
1 【四半期連結財務諸表】	11
2 【その他】	20
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	21

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 2019年5月7日

【四半期会計期間】 第68期第2四半期(自 2018年12月21日 至 2019年3月20日)

【会社名】 マルサンアイ株式会社

【英訳名】 MARUSAN-AI CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 渡辺 邦 康

【本店の所在の場所】 愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地

【電話番号】 0564-27-3700

【事務連絡者氏名】 取締役経営企画部長(兼)管理担当 堺 信 好

【最寄りの連絡場所】 愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地

【電話番号】 0564-27-3700

【事務連絡者氏名】 取締役経営企画部長(兼)管理担当 堺 信 好

【縦覧に供する場所】 株式会社名古屋証券取引所
(愛知県名古屋市中区栄3丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第67期 第2四半期 連結累計期間	第68期 第2四半期 連結累計期間	第67期
会計期間	自 2017年9月21日 至 2018年3月20日	自 2018年9月21日 至 2019年3月20日	自 2017年9月21日 至 2018年9月20日
売上高 (千円)	13,008,334	13,460,242	26,340,579
経常利益 (千円)	108,415	192,920	414,433
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	243,052	59,218	1,146,399
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	260,436	18,966	1,210,526
純資産額 (千円)	4,326,414	5,158,580	5,276,504
総資産額 (千円)	22,519,534	22,650,924	23,475,126
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	106.53	25.96	502.47
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	19.1	22.7	22.4
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	816,530	105,916	2,940,396
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	△1,081,381	△1,062,577	△664,857
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	47,337	542,871	△1,966,116
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	2,384,164	2,494,277	2,912,176

回次	第67期 第2四半期 連結会計期間	第68期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2017年12月21日 至 2018年3月20日	自 2018年12月21日 至 2019年3月20日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 (△) (円)	49.65	△17.44

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間（2018年9月21日～2019年3月20日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善に伴い緩やかな回復基調で推移した一方で、海外経済における通商問題の動向や金融資本市場の変動の影響が懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

みそ業界におきましては、海外への輸出や業務用みその出荷が拡大している一方で、依然として家庭で消費されるみその需要減退が課題となっております。

豆乳業界におきましては、健康志向の高まりを背景として、料理にも使いやすい無調整豆乳を中心に、過去最高の生産量で推移しております。

このような環境の中で、当社グループは「健康で明るい生活へのお手伝い」を企業理念に定め、安全で安心できる製品の供給に努めるとともに、原価高騰への対策としてコスト削減に努め、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は、液状みそ及び豆乳が順調に推移したため134億60百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益は、売上高の増加により1億87百万円（前年同期比30.0%増）、経常利益は、投資有価証券売却益及び円安によるデリバティブ評価益を計上したため1億92百万円（前年同期比77.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、マルサンアイ鳥取株式会社に対する補助金収入額が減少したため59百万円（前年同期比75.6%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① みそ事業

生みそ及び液状みそが堅調に推移したため、売上高は、26億52百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

a. 生みそ

メディアによる影響により「本場赤だし」を中心とするカップ入りみそ、及び業務用みその出荷が順調に推移したため、売上高は、21億16百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

b. 調理みそ

主力である「酢みそ」等の調理みその売上が増加したため、売上高は、1億87百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

c. 即席みそ

フリーズドライ製品及び赤だしの売上が増加したため、売上高は、2億38百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

d. 液状みそ

鮮度みそシリーズに対し、お笑いコンビのサンドウィッチマンさんを起用したテレビCMをはじめとする各種販売促進に努めた結果、コンビニエンスストアでの取り扱いが増加したこともあり、売上高は、1億10百万円（前年同期比32.5%増）となりました。

② 豆乳飲料事業

豆乳が順調に推移したため、売上高は、94億92百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

a. 豆乳

1000mlタイプの無調整豆乳、カロリーオフ製品及び海外向け製品が順調に推移し、売上高は、84億37百万円（前年同期比6.3%増）となりました。

b. 飲料

他社ブランド飲料の売上が減少したため、売上高は、10億54百万円（前年同期比9.9%減）となりました。

③ その他食品事業

「豆乳グルト」が堅調に推移したものの、鍋スープの売上が減少したため、売上高は、13億7百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

④ 技術指導料その他

技術指導料として、売上高8百万円（前年同期比3.6%増）を計上いたしました。

財政状態の状況は、次のとおりであります。

① 資産

流動資産は、90億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、受取手形及び売掛金の減少4億10百万円、現金及び預金の減少4億7百万円等によるものであります。

固定資産は、135億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ76百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、建物及び構築物の減少86百万円、投資有価証券の減少60百万円、機械装置及び運搬具の減少40百万円等に対し、その他に含まれる建設仮勘定の増加2億95百万円等によるものであります。

この結果、資産合計は、226億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億24百万円減少いたしました。

② 負債

流動負債は、105億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億14百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、短期借入金の減少13億50百万円、支払手形及び買掛金の減少6億61百万円、未払金の減少5億46百万円等によるものであります。

固定負債は、69億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億8百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、長期借入金の増加19億21百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、174億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億6百万円減少いたしました。

③ 純資産

純資産合計は、51億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億17百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、利益剰余金の減少77百万円、その他有価証券評価差額金の減少28百万円等によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ4億17百万円減少し、24億94百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1億5百万円の収入（前年同期は8億16百万円の収入）となりました。これは、仕入債務の減少額6億60百万円等の支出に対し、減価償却費5億71百万円、税金等調整前四半期純利益1億86百万円等の収入があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、10億62百万円の支出（前年同期は10億81百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出10億77百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億42百万円の収入（前年同期は47百万円の収入）となりました。これは、短期借入金の純減少額13億50百万円、長期借入金の返済による支出4億67百万円等の支出に対し、長期借入れによる収入25億20百万円等があったためであります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、39百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、研究開発活動に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

② 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年3月20日)	提出日現在発行数(株) (2019年5月7日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,296,176	2,296,176	名古屋証券取引所 市場第二部	単元株式数：100株
計	2,296,176	2,296,176	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

① 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

② 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2018年12月21日～ 2019年 3月20日	—	2,296,176	—	865,444	—	612,520

(5) 【大株主の状況】

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	2019年3月20日現在
			発行済株式(自己株式を 除く。)の総数に対する 所有株式数の割合(%)
株式会社佐藤産業	愛知県岡崎市羽根町字陣場103	305,060	13.37
佐藤公信	千葉県千葉市花見川区	180,684	7.92
マルサンアイ取引先持株会	愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地	160,200	7.02
石田典子	愛知県岡崎市	91,366	4.00
福島裕子	愛知県岡崎市	91,366	4.00
マルサンアイ従業員持株会	愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地	89,180	3.91
佐藤明子	千葉県千葉市花見川区	41,660	1.83
ひかり味噌株式会社	長野県諏訪郡下諏訪町4848番地1	40,000	1.75
石田治夫	愛知県岡崎市	39,960	1.75
福島重喜	愛知県岡崎市	39,960	1.75
計	—	1,079,436	47.31

(6) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

2019年3月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 14,600	—	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,279,300	22,793	同上
単元未満株式	普通株式 2,276	—	同上
発行済株式総数	2,296,176	—	—
総株主の議決権	—	22,793	—

(注) 「単元未満株式」には、当社所有の自己株式68株が含まれております。

② 【自己株式等】

2019年3月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) マルサンアイ株式会社	愛知県岡崎市仁木町字荒 下1番地	14,600	—	14,600	0.64
計	—	14,600	—	14,600	0.64

(注) 当第2四半期会計期間末日現在の自己株式数は、14,668株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2018年12月21日から2019年3月20日まで)及び第2四半期連結累計期間(2018年9月21日から2019年3月20日まで)に係る四半期連結財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,039,326	2,631,467
受取手形及び売掛金	4,141,799	3,731,251
商品及び製品	832,579	707,780
仕掛品	471,416	477,014
原材料及び貯蔵品	535,939	632,731
その他	954,155	894,599
貸倒引当金	△1,367	△1,467
流動資産合計	9,973,849	9,073,376
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,102,241	5,015,621
機械装置及び運搬具（純額）	3,048,614	3,008,596
土地	3,004,916	3,004,916
その他（純額）	1,168,628	1,443,397
有形固定資産合計	12,324,401	12,472,531
無形固定資産	213,774	203,638
投資その他の資産		
投資有価証券	279,075	218,773
その他	694,919	693,487
貸倒引当金	△10,893	△10,884
投資その他の資産合計	963,101	901,377
固定資産合計	13,501,277	13,577,547
資産合計	23,475,126	22,650,924

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,604,191	2,943,024
短期借入金	4,060,000	2,710,000
1年内返済予定の長期借入金	744,966	875,677
未払法人税等	403,641	157,212
賞与引当金	367,079	386,313
未払金	3,670,453	3,123,484
その他	297,408	337,327
流動負債合計	13,147,741	10,533,038
固定負債		
長期借入金	3,159,308	5,080,860
退職給付に係る負債	1,224,836	1,241,587
資産除去債務	224,995	226,753
その他	441,740	410,104
固定負債合計	5,050,881	6,959,305
負債合計	18,198,622	17,492,344
純資産の部		
株主資本		
資本金	865,444	865,444
資本剰余金	629,828	629,828
利益剰余金	3,644,160	3,566,488
自己株式	△41,201	△41,201
株主資本合計	5,098,232	5,020,560
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,177	30,115
為替換算調整勘定	16,031	9,379
退職給付に係る調整累計額	84,268	76,701
その他の包括利益累計額合計	158,477	116,196
非支配株主持分	19,794	21,823
純資産合計	5,276,504	5,158,580
負債純資産合計	23,475,126	22,650,924

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年9月21日 至 2018年3月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月21日 至 2019年3月20日)
売上高	13,008,334	13,460,242
売上原価	9,643,195	9,857,516
売上総利益	3,365,138	3,602,726
販売費及び一般管理費	※ 3,220,641	※ 3,414,936
営業利益	144,497	187,789
営業外収益		
受取利息	2,849	2,477
不動産賃貸収入	7,868	7,908
持分法による投資利益	22,248	—
デリバティブ評価益	—	7,229
投資有価証券売却益	—	10,221
その他	7,921	9,739
営業外収益合計	40,886	37,575
営業外費用		
支払利息	16,066	14,017
シンジケートローン手数料	6,128	6,832
持分法による投資損失	—	43
債権売却損	7,037	7,562
デリバティブ評価損	41,480	—
その他	6,255	3,988
営業外費用合計	76,968	32,444
経常利益	108,415	192,920
特別利益		
補助金収入	312,000	13,000
固定資産売却益	288	—
特別利益合計	312,288	13,000
特別損失		
減損損失	—	10,859
固定資産除却損	2,079	8,644
投資有価証券評価損	15,332	—
特別損失合計	17,412	19,503
税金等調整前四半期純利益	403,291	186,416
法人税等	158,094	125,124
四半期純利益	245,196	61,292
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,144	2,073
親会社株主に帰属する四半期純利益	243,052	59,218

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年9月21日 至 2018年3月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月21日 至 2019年3月20日)
四半期純利益	245,196	61,292
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,532	△28,106
為替換算調整勘定	10,027	△4,675
退職給付に係る調整額	△8,696	△7,567
持分法適用会社に対する持分相当額	4,376	△1,976
その他の包括利益合計	15,239	△42,326
四半期包括利益	260,436	18,966
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	258,256	16,937
非支配株主に係る四半期包括利益	2,179	2,029

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年9月21日 至 2018年3月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月21日 至 2019年3月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	403,291	186,416
減価償却費	651,542	571,379
減損損失	—	10,859
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△902	91
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20,357	19,233
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,395	9,183
受取利息及び受取配当金	△3,854	△3,807
補助金収入	△312,000	△13,000
持分法による投資損益 (△は益)	△22,248	43
支払利息	16,066	14,017
シンジケートローン手数料	6,128	6,832
為替差損益 (△は益)	5,242	3,643
デリバティブ評価損益 (△は益)	59,997	△6,228
固定資産除却損	320	1,141
売上債権の増減額 (△は増加)	487,881	410,398
たな卸資産の増減額 (△は増加)	146,787	20,887
仕入債務の増減額 (△は減少)	△828,664	△660,248
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△10,221
投資有価証券評価損益 (△は益)	15,332	—
未収入金の増減額 (△は増加)	177,301	84,333
未払金の増減額 (△は減少)	△261,446	△88,630
未収消費税等の増減額 (△は増加)	442,315	△14,918
その他	△106,726	△60,510
小計	861,403	480,897
利息及び配当金の受取額	14,290	4,359
利息の支払額	△15,978	△14,630
補助金の受取額	312,000	13,000
法人税等の支払額	△355,185	△377,741
法人税等の還付額	0	31
営業活動によるキャッシュ・フロー	816,530	105,916
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,053,075	△1,077,558
投資有価証券の取得による支出	△5,837	△4,232
投資有価証券の売却による収入	—	37,488
その他	△22,468	△18,274
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,081,381	△1,062,577
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,760,000	△1,350,000
長期借入れによる収入	3,790,000	2,520,000
長期借入金の返済による支出	△1,817,320	△467,737
シンジケートローン手数料支出	△7,318	△7,148
配当金の支払額	△136,893	△136,890
その他	△21,130	△15,352
財務活動によるキャッシュ・フロー	47,337	542,871
現金及び現金同等物に係る換算差額	△358	△4,109
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△217,872	△417,898
現金及び現金同等物の期首残高	2,602,036	2,912,176
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 2,384,164	※ 2,494,277

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月21日 至 2019年3月20日)
(税金費用の計算) 当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月21日 至 2019年3月20日)
(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費のうち主要な費用及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年9月21日 至 2018年3月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月21日 至 2019年3月20日)
給与手当	521,305千円	549,111千円
支払運賃	1,259,283千円	1,337,640千円
賞与引当金繰入額	157,786千円	170,170千円
退職給付費用	24,508千円	25,927千円
貸倒引当金繰入額	△902千円	99千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年9月21日 至 2018年3月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月21日 至 2019年3月20日)
現金及び預金勘定	2,500,240千円	2,631,467千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△116,075千円	△137,190千円
現金及び現金同等物	2,384,164千円	2,494,277千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2017年9月21日 至 2018年3月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2017年12月14日 定時株主総会	普通株式	136,893	60.00	2017年9月20日	2017年12月15日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年9月21日 至 2019年3月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年12月14日 定時株主総会	普通株式	136,890	60.00	2018年9月20日	2018年12月17日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年9月21日 至 2018年3月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,547,387	9,105,090	1,347,692	13,000,169	8,164	13,008,334
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,547,387	9,105,090	1,347,692	13,000,169	8,164	13,008,334
セグメント利益	252,136	1,720,031	160,730	2,132,897	8,164	2,141,062

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術指導料及び受取ロイヤリティーを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,132,897
「その他」の区分の利益	8,164
全社費用(注)	△1,996,564
四半期連結損益計算書の営業利益	144,497

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2018年9月21日 至 2019年3月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,652,401	9,492,229	1,307,153	13,451,784	8,458	13,460,242
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,652,401	9,492,229	1,307,153	13,451,784	8,458	13,460,242
セグメント利益	277,293	1,866,035	124,143	2,267,472	8,458	2,275,930

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術指導料を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,267,472
「その他」の区分の利益	8,458
全社費用(注)	△2,088,141
四半期連結損益計算書の営業利益	187,789

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「豆乳飲料事業」セグメントにおいて、一部製品の製造終了により、遊休資産となった機械装置等について減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては10,859千円であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年9月21日 至 2018年3月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月21日 至 2019年3月20日)
1株当たり四半期純利益金額	106円53銭	25円96銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	243,052	59,218
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	243,052	59,218
普通株式の期中平均株式数(株)	2,281,542	2,281,508

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年5月7日

マルサンアイ株式会社
取締役会 御中

三優監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 八 代 英 明

指定社員
業務執行社員 公認会計士 吉 川 雄 城

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているマルサンアイ株式会社の2018年9月21日から2019年9月20日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2018年12月21日から2019年3月20日まで)及び第2四半期連結累計期間(2018年9月21日から2019年3月20日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、マルサンアイ株式会社及び連結子会社の2019年3月20日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。